

■ 道程 / 6750m ■ 所要時間 / 約2時間15分 (見学時間を除く)
● 東草橋バス停…鶴瀬駅西口からバス乗車約10分



⑦旧島田家住宅



①三富地割景観

- 東草橋バス停 100m 2分
- ① 三富地割景観 ★ 900m 18分
- ② 正徳の庚申塔 ★ 700m 14分
- ③ 島田伴完寺子屋跡 400m 8分
- ④ 御嶽神社 宮本 250m 5分
- ⑤ 大石燈籠 ★ 450m 9分
- ⑥ いぼとり地蔵 100m 2分
- ⑦ 旧島田家住宅 ★
- ⑧ 天王様 600m 12分
- ⑨ 開拓主島田家長屋門 450m 1100m 22分
- ⑩ 浅間神社 800m 16分
- ⑪ 緑のトンネル
- ⑫ 多福寺 ★ 150m 3分
- ⑬ 穀倉 ★
- ⑭ 甘藷の碑
- ⑮ 木ノ宮地蔵堂 ★ 750m 15分
- ⑯ 多間院・神明社・いも神社

★ 県・町の指定文化財・旧跡のある所

①三富新田の開拓 元禄7~9年(1694~96)に川越藩主柳沢吉保の命により行われた、1400haに及ぶ畑作新田開拓。三富とは、三芳町上富、所沢市中富、下富の総称。

現在、秋には“いも街道”と呼ばれる六間道沿いに、1軒分が間口40間・奥行375間・広さ5haの短冊状の地割が残り、屋敷・畑・雑木林が整然と続く景観を見ることができる。埼玉県指定旧跡。

③島田伴完寺子屋跡 江戸時代天保年間(1830~44)から島田伴完が自宅を開放して寺子屋「玉泉堂」を開設。近郷より延べ300人以上の子弟が学んだ。入口の寿蔵之碑は、門人達が師匠の長寿を祝って明治12年(1879)に建立したもの。寺子屋に使用していた母屋は、現在、旧島田家住宅として移築復元されている。

⑩多福寺 臨済宗。三富山多福寺と号する。本尊は釈迦如来立像。三富開拓入植農民の菩提寺として元禄9年(1696)に創建。境内には元禄の井戸や県指定文化財の銅鐘、三芳町指定文化財の穀倉などがある。周辺の雑木林は県自然環境保全区域に指定され、野鳥も多く棲息する。



⑩多福寺

⑬木ノ宮地蔵堂 別名武蔵野地蔵堂。創建年代は不詳だが、その成立は少なくとも中世末期までさかのぼる。内陣の格天井には107枚の山野草の天井画が描かれており、春と夏の祭礼には中に入り、見学することができる。三芳町指定文化財。